

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	保健福祉局障害福祉部障害福祉課
評価対象期間	平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立日明リサイクル工房	施設類型	目的・機能
			I	— ⑦
	所 在 地	北九州市小倉北区西港町 9 6 番 2 号		
	設置目的	利用者の作業支援、生活支援、健康管理その他の支援を行うことにより障害者の生活及び福祉の向上に資することを目的としている。		
利用料金制		非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 完全利用料金制		
		インセンティブ制 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	ペナルティ制 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	
指定管理者	名 称	社会福祉法人北九州市手をつなぐ育成会		
	所 在 地	北九州市戸畑区汐井町 1 番 6 号		
指定管理業務の内容		障害福祉サービス事業所（就労継続支援（A型））の管理運営		
指定期間		平成 2 3 年 4 月 1 日～平成 2 8 年 3 月 3 1 日		

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント				
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み				
(1) 施設の設置目的の達成				
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。				
② 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。				
③ 利用者のサービス提供計画に基づき、適切に福祉サービスが実施されているか。				
【所見】				
<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画に沿った適切な管理運営が行われており、各サービスにおいて、個別支援計画等に基づき、利用者の障害特性や個別のニーズにあったサービス提供に努めている。 ・送迎サービスの実施やノー残業デー、年休取得の推進、入浴サービスに強化月間を設け衛生面への取り組みを図るなど、利用者が施設を利用しやすい環境作りに努めることで、施設利用率が113%となる。（目標値108%） ・施設情報の発信のため、広報紙を年3回（年間261部）発行するほか、ホームページの更新を年105回行うなどの広報活動を実施している。 ・関係機関と連携し、利用者の地域生活へ向けた取り組みやその後の支援を行い、充実した単身生活の継続できるよう努めている。今年度は、1名の地域移行が実現している。 				
【利用率】 単位：%				
利用者数	【参考】H22年度(更新前)	H23年度	H24年度	H25年度
目標値	—	100	108	108
実績	110.6	112	113.1	113
(2) 利用者の満足度				
① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。				
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。				
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。				
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。				
⑤ 利用者の生活の質の向上を目的としたボランティア等の活用が行われており、その効果があったか。				
⑥ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。				

【所見】

- ・アンケートの結果、施設の各サービスの「とても良い」、「良い」を合わせた評価は、79%を超えており、利用者の満足度は概ね高いものとなっている。
- ・生活面の向上を図る委員会活動及び作業面の改善を検討する職場グループ活動の場で、職場の改善等に関する取り組みに参加することにより、利用者の主体的な活動を支援するとともに意見や要望を把握し、サービスの向上につなげている。
- ・利用者からの苦情に対して適切に対応していくため、法人として苦情解決制度を設けており、また、施設としても利用者からの出された意見や苦情等に対して適切に対応している。
- ・業務で使用するフォークリフトの免許取得のための支援などを行い、労働意欲の向上、資格の取得、作業技術や職場環境に関する意識の向上を図っている。
- ・利用者からの希望を聞き取り、趣向にあわせたバスハイク等、外出・余暇活動、利用者の社会参加や生きがいふくり等の取組みの充実利用者の福祉向上に努めている。

施設総合評価

【満足度】

単位：%

年度	H23年度	H24年度	H25年度
目標値	70	70	75
実績	80	87.5	79.8

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

【所見】

- ・委託業務における入札の実施や複数の見積りを徴収することによる経費の削減に努めている。（「ISO14001」の取り組み実施）

(2) 収入の増加

- ① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

【所見】

- ・提供するサービスは法定であり、報酬単価も国基準であるので、収入増加の工夫はできない。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。
② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。
③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。
④ モニタリングの結果、施設の維持管理が適切に行われているか。
<p>[所見]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設内において管理運営にあたる人員は適正に配置されており、施設の維持管理は適切に行われている ・職員の業務及び能力開発に関し、目標管理に基づいた育成を計画的に行っており、外部研修の活用等により、職員の資質・能力の向上を図っている。 ・小学生や外国人、一般の見学者の受け入れを行っており（3,325人）、障害者の理解促進や施設が行っている環境リサイクル活動の周知に努めている。 ・利用者の社会参加の促進と生きがいづくりの一環として、市民参加型花壇制度「勝山公園うえるっちゃ!花壇」にボランティア参加（7回）し、地域交流・地域貢献を行っている。
<p>(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など</p>
② 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。
② 施設の利用者に対する人権が尊重され、また、身体拘束及び虐待等の防止策が適切に実施されているか。
③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
⑦ 衛生管理及び感染症防止への対応が適切であったか。
⑧ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。
<p>[所見]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の個人情報保護や事故防止等のマニュアル整備や人権、虐待防止についての研修や職員間の討議を行うなど、適切な運営に努めている。 ・危機管理体制を整えており、「ヒヤリハット」の速やかな対処と職員間の情報共有を図るなど、事故に対する意識向上に取り組んでいる。 ・対人援助に関する技術や取得のための研修会や、事業所運営・安全衛生の知識・技能の習得のための研修会など様々な研修を実施し、職員の資質・能力の向上等の取り組み、利用者の健康管理・感染予防に努めている。

【総合評価】

<p>[所見]</p> <p>事業計画に沿って施設の運営管理が適切に行われており、高い施設利用率の中であるが、利用者の満足度も概ね高いものとなっている。</p> <p>クラブ活動や免許・資格の取得、技能大会への参加などを通して、利用者の能力向上に</p>
--

努めており、また、就労希望者や単身生活者への支援にも努めている。

また、安全管理・環境保全に対する意識、見学者への対応など、施設の設置目的に沿った職員の資質・能力向上についても、目標管理がなされ計画的に行われている。

[今後の対応]

現状に引き続き、施設の管理運営の適切な実施、また、利用者の資格取得など一般社会人としての能力向上支援の取り組みに期待する。